

新入生を迎えて 学院長 片寄浩紀

学好中国话，为日中友好起桥梁作用！

日中学院報

2019年 4

毎月1日発行 第529号

編集発行人・片寄浩紀

定価1部100円/1年1000円(送共)
郵便振替 東京 00100-38184

〒112-0004 東京都文京区後楽1-5-3
TEL 03-3814-3591 FAX 03-3814-3590
URL <https://www.rizhong.org/>
E-mail info@rizhong.org

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。日中学院は皆さんを心から歓迎します！

日中学院は1951年の創立以来すでに68年の歴史を持ち、東京でも有数の語学専門学校です。この学校の建学以来のスローガンは『学好中国话，为日中友好起桥梁作用！』（中国語を学んで日中友好の架け橋になろう！）です。この言葉には、日中戦争の過ちを繰り返すまい、中国語を学んで相互理解を深め、よりよい未来を創ろうという願いが込められています。この思いは今も多くの教職員、学生、校友の心に響き続けています。

国交正常化と中国の対外開放を経て、1986年には中国からの留学生のための日本語科を設置しました。現在では中国語を学ぶ本科生、本科研究科生と日本語を学ぶ日本語科の留学生とが、同じ校舎で学んでいます。本科生と留学生の合同合宿も行っています。学院内は日本人と中国人のにぎやかな交流の場にもなっています。現在、日中学院は日本政府と中国政府の共同事業である公益財団法人日中友好会館付設の専修学校というしっかりした位置づけを得ております。

今年は中華人民共和国成立70周年であり、日中国交正常化47周年に当たります。日中関係はすでに成熟した段階に至り、社会のあらゆる分野で交流が行われております。年間に訪中する日本人は250万人、来日する中国人は800万人に達しています。今や町のいたるところで中国語が聞こえてきます。社会は中国語あるいは日本語が使える人材を広く求めています。

日中学院では「中国語あるいは日本語が聞ける、話せる」という実際に使える教育を重視しています。優秀な中国人講師や日本語講師を多数招くと共に、視聴覚教育設備も完備しています。2年間しっかり勉強すれば、皆さんは必ず正しい中国語や日本語を流暢に話せるようになります。そうすれば私たちは日中両国を合わせて15億人の人々と意思疎通することができるようになります。

学習以外にも中国からの代表団を招いての学生との座談会や外部講師による講演会、学生や教職員による中国語あるいは日本語の演劇や歌舞を発表する文化祭など、常に社会との結びつきを重視した運営を行っています。また、図書室には3万点に近い書籍や視聴覚教材が備わっており、語学はもちろん、日中の近現代史についても身近に学ぶことができます。卒業後の進路についても親身になって相談に応じています。

これから2年間、新入生の皆さんが新しい環境の中で、何よりも心身の健康に留意し、教職員や上級生の諸君と共に、真剣に、かつ楽しく学校生活を過ごしていけるよう、一緒に頑張りたいと思っています。



3月15日 本科・日本語科合同卒業式

A 先生の新語コーナー



Jīfēnlùòhùzhì

“积分落户制”

ポイント制戸籍取得制度。都市戸籍の取得を希望する出稼ぎ農民などの地方出身者を点数付けして所定の基準を満たせば戸籍を与える制度。北京、上海、広東などですでに実施されているが、ポイントの内容や計算方法は一律ではない。北京の場合は「市の居住証を持ち、法廷退職年齢を超えず、社会保障料を連続7年以上納め、犯罪記録がない」ことを申請資格の条件とし、職業、住居、学歴、納税、年齢など9項目の指標を設け、項目ごとに点数を分配している。

(A)

図書室 だより

歓迎！ 図書室へ

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。本学院には2階奥に図書室があり、日本有数の資料も含めた約2万点の中国関連の図書を所蔵しています。学生さんであればいつでも利用することができますので是非ご活用下さい。



☆ 図書室利用案内 ☆

◎開室時間

月曜～金曜 12:00～18:45

※別科休み期間は17:45まで

土曜 12:00～18:00

※別科休み期間は閉室

◎貸出期間・点数

本・・・・・・・・・・5冊

視聴覚資料・・・・・・・・3点

貸出期間・・・・・・・・2週間（3回まで延長可）

★ 夏休み・冬休みなどの長期の休みには貸出点数が増え、貸出期間も延びます。（校友会会員を除く）

★ 辞書と一部の雑誌は閲覧のみとなりますが、学院内での持ち出しは可能です。

☆ 当室の特色 ☆

◎日本・中国双方の資料が充実

当室では日本書と中国書をほぼ同じ割合で所蔵しています。中国語を学ぶ学生さんには、中国語テキストや辞典のほか、文学、芸術、文化、歴史、旅行など、中国への興味をさらに豊かにしていただけるよう、あらゆる分野の図書を所蔵しています。

また、日本語を学ぶ留学生の皆さんには、日本語のテキストや大学受験のための問題集、さらに日本への知識をより深めていただけるよう、中国語で紹介された日本の本の所蔵も充実しています。

◎視聴覚資料も種類豊富

1930年代からのアーカイブスも含め、映画を中心に約700点の資料を所蔵しています。日本では上映されていない中国の映画やドラマも多く、映像からはそれぞれの時代が垣間見え、より深く歴史や文化を理解することができます。中国語字幕の映画も多数あり、中国語聞き取り練習にも役立ちます。

◎雑誌もあります

中国出版の《人民文学》《小説月報》《読者》等の文芸誌、《大衆電影》の映画雑誌や、総合誌の『人民中国』、NHKテレビ・ラジオ講座のテキスト等があります。また、『聴く中国語』や現在は休刊となっている『中国語ジャーナル』も共に創刊号から揃っており、バックナンバーの貸し出しもしています。

◎予約もできます

借りたいと思っていた本やDVD等が貸し出し中の場合は予約ができます。また、購入希望のリクエストも随時受け付けておりますので、お気軽に係員にお声がけ下さい。

◎利用するには

ご利用の際には「図書カード」（図書貸出証）が必要になります。お持ちでない方は図書室にて発行いたします。またバーコード登録が必要になりますので、図書室でお手続きいただければ貸し出しがスムーズになり便利です。

◎図書室掲示板にご注目ください

1階と2階の間の階段踊り場に図書室の掲示板があり、新着図書のご案内や開室時間の変更などをお知らせしています。

— 寄 贈 —

下記の方々よりの寄贈に御礼申し上げます。
飯塚容様（訳者）より『活きる』中公文庫
曾徳深様（発行者）より『横浜中華街万華鏡
豆彩—TOUSAI—年代記 1997～2008』『横濱山
手中華学校校史 SINCE1898』

新入生のみなさんへ

本科専任講師 小金井京子

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。本科を代表して心からのお祝いを申し上げます。これからみなさんは日中学院の本科で中国語を学んでいくわけですが、これからの2年間に大きな希望や期待を感じると同時に、「これからの毎日、どのように過ごしていけばいいのか」あるいは「毎日の授業について行かれるかどうか」など、今はそんな不安な気持ちも抱えていることと思います。まずは真つさらな気持ちで毎日の授業に向かってください。その日の授業のポイントを理解し、それを自分のものとして使えるようになるまでしっかり復習して、まず1ヶ月を過ごしてみてください。するといつの間にか中国語が少しずつみなさんのものになっていることに気づくことでしょう。そうしている内に、次のステップではどのように勉強すればいいのかだんだんわかってくると思います。最初の頃は「発音」になれるだけでいいでしょう。次の段階では中国語の「漢字」や「語順」にも気が回るようになってくるでしょう。そんな風にしてみなさんの今の段階に合った勉強のポイントや方法が見えてくるはずです。学習者のレベルによってポイントになること、よりよい勉強の仕方とも変わってきます。先輩や先生方の助けを借りながら自身でそうしたものをだんだんに学んでいってください。

「学ぶ」というのはどんなことでしょうか。私は「学ぶ」とは「よりよくなること」だと考えています。それがどんな場であれ、またどんな相手に対してでも「学ぶ」気持ちさえあれば、そこから必ず「よい点を見つけてそれを自身の中に取り込むこと」ができる。それが「学ぶこと」であり「学ぶ姿勢」であると私は思います。それがあれば学校でなくても、逆に言えばそれがなければどんな条件を整えても「学ぶ」ことに結びつかないと思うのです。日中学院は中国語を学ぶには本当にいい学校であると思います。熱心で意欲にあふれた先生方、一生懸命に学ぶ“同学 tóngxué”、図書室にもみなさんの学習をサポートしてくれる様々な書籍がそろっています。その環境を120パーセント利用して中国語を勉強してください。心から応援しています。

新入生歓迎あいさつ

日本語科 松本朝子

皆さんは、日中学院で日本語を身につけ、日本の大学や大学院へ進もうとこれからの学校生活に期待していらっしゃることでしょ。そんなみなさんに、私から二つ、お話ししたいことがあります。

みなさんはこれから2年間、日本語を勉強します。理想の大学、大学院に進学するために勉強に追われる日々を過ごすこととなります。2年間、同じモチベーションで勉強に取り組んでいくことができる人はごく稀です。新しい環境で生活していくのは大変なことも多いと思います。慣れないこともあり、途中でいやになることも、悩むこともあるかもしれません。

そんなときは一人で悩まず、私たち教師や事務の方々、周りにいるすばらしい友人たちに話しをしてみてください。話してみると不思議と気持ちが明るくなり日本での生活をつづける勇気がまた湧いてきます。前向きに、ポジティブに物事を考えられることが留学生活を楽しむ秘訣です。

もうひとつお話ししたいことは、「初心忘るべからず」ということです。

日本へやってきたばかりの今の気持ちを覚えていてほしいと思います。生活に慣れて、「どうして日本に来たんだろう」と思う時、あるいは、これからの生活で、辛く寂しい時、今の気持ちを思い出して、もういちどがんばってみてください。

皆さんが夢を叶えられるように、私達は精一杯応援していきたいと考えています。

2年という月日は長いようですが、過ぎてしまうとあっという間です。夢に向かって努力を続け、ぜひ、目標を達成してください。卒業生も日中学院で学んだことを基に、それぞれの場で活躍しています。

日中学院では留学生が中国語を学ぶ方々と交流する機会がとて多く、日本の生の声が聞けます。交流のときはぜひ日本語で話し、日本語力を高めてください。そして日本の文化や習慣も同時に理解を深めていってください。

今まで卒業生が苦しい環境に負けず希望をかなえられた背景には、本人の努力や教師の力だけでなく、日本の方々の協力もあります。日本語と中国語、お互いに助け合いながら交流を深めることができるのはたいへんすばらしいことです。

皆さんの留学生活が実りあるものとなり、日中両国の友好の架け橋となるにふさわしい方となれることを祈っています。

我的变化非常大 別科 専任講師 胡興智

“在日中学院 我学了半年汉语 光阴似箭啊”

(学院で半年あまり中国語習いつつ思う矢の如しかな)

週2回、半年習っただけの学生が書いたものですが、4字熟語も交え、日中文化の融合という形の「中国語五七五三行日記」が書けるまで成長されるとは半年前に誰が予想できたでしょうか。

同じクラスの方の書いた日記をご紹介します。

“在日中学院 我的变化非常大 谢谢大家了”

(日中学院で私の変化大きいと思って皆に深き感謝を)

会社に勤めているながら、夜、週2回学校に通うのは大変だと思いますが、中国語を学ぶことによって、相手の文化、言語への理解が深まるだけでなく、自分の文化、言語への関心がより深まることも楽しみの一つ。また、広い視野で今取り囲まれている社会及び自分自身のことをよく見ることができ、様々なことに対する好奇心も沸いてきて、全てを意欲的に学ぼうとする子供時代の自分に再会できることは何よりも励みとなるでしょう。しかも、一緒に学び、その苦楽を共にする仲間も増えて、「一石数鳥」の勉強、いつまでも続けていきたいという声を多くの方から聞いています。

4月は、新しい門出、新しい自分に出会うのに最も相応しい季節。桜を眺めながら、「春眠不觉晓」を中国語で朗詠するのも気持ちのよいものです。

4 月の日中学院

星期日	星期一	星期二	星期三	星期四	星期五	星期六
	1 ●本科・日本語科 春休み(～4/9) ●別科学期間休み (～4/7)	2	3	4	5 ●本科・日本語科 合同入学式 ●別科公開講座 入門(18:45～)	6 ●別科公開講座 入門・基礎 (13:00～)
7	8 ●別科273期授業 開始	9	10 ●本科・日本語科 授業開始	11	12	13
14	15	16	17	18	19 ●本科就職説明会	20
21	22	23	24	25	26 ●本科・日本語科 都内見学	27
28	29 ●閉門(～5/6)	30				
●5月の日中学院 ・7日…本科 発音補助 ・21日…本科・日本語科 合宿(～22)			・23日…本科2年 短期研修説明会 ・29日…本科・日本語科 健康診断		●4月28日(日)～5月6日(月)は、 閉門となります。ご注意ください。	